おうちde診察クリニック成田

清田 育男院長

内科 |

1 2 3

2018年3月に開業した「おうちde診察クリニック成田」では、訪問診療を専門に自宅での診療を希望する患者への診療を行っている。清田育男（せいた・いくお）院長は、東京医科大学病院臨床検査医学科や同大学茨城医療センターで幅広い経験を積み、日本内科学会総合内科専門医と難病指定医の資格をもつ。今回の開業にあたり、訪問診療専門クリニックである四街道まごころクリニックにて、約2年半非常勤として勤務、訪問診療のノウハウを学んだ上で開業した。「さまざまな疾患を抱える患者が、少しでも自分らしく笑顔で生活できるよう、訪問診療を通してサポートしたい」と考える清田院長に、患者や医療への思いについて、じっくりと話を聞いた。
（取材日2018年4月19日）

「患者に寄り添う医療を提供したい」と開業を決意

―開業のきっかけをお聞かせください。

長い間大学病院に勤務した中で、「治らなくてもいいから、どうしても家に帰りたい」と願う患者さんの言葉が忘れられませんでした。自分にできることはなんだろうと、ずっと自分自身で問いかけていました。「誰もが平等に最期に過ごす場所を選択できたらどんなに良いだろうか」、そんな思いをきっかけに、訪問診療という形で開業を決意しました。開業前には在宅診療を専門に行う四街道まごころクリニックで週1回非常勤として勤務しました。そこでも在宅での診察を希望する患者さんがとても多いと感じましたね。現在、体の不自由な高齢の方が、短い診察を受けるために1日かけて病院に行き、何時間も待たなければならない、ということもあります。

訪問診療ならこうした患者さんの負担を取り除き、一人ひとりに診察時間をしっかり設けることができます。

―どのような方が在宅診療をご利用ですか？

現在利用されている患者さんは病院やケアマネジャーさんからの紹介が多いです。身体的な理由や、何らかの事情でクリニックに通うことができない方が訪問診療を利用されています。通院が難しい人となると、やはり高齢の方が中心になります。今利用されている患者さんの具体的な疾患としては、末期がんや脳出血、脳梗塞、認知症などがあります。ご自宅への訪問診療がほとんどですが、有料老人ホームにいらっしゃる患者さんのもとへ伺うこともあります。初診ではなかなか心を開いてくださらない患者さんも、回を重ねるごとに信頼関係が築け、よいコミュニケーションがとれるようになり、スムーズな診療が行えています。

―診療において意識していることはありますか？

患者さんの多くは、私より経験を重ねた高齢の方々なので、人生の先輩として敬意をはらい、必ずご挨拶をしっかりしてから診察に入るよう意識しています。また、丁寧にお話を伺い、無理強いすることなく患者さん主体の診療を心がけることで患者さんのご家族も安心して診察を受けていただいていると感じますね。もちろん、その中で医学的に必要なことはきちんとお話しいたしますが、患者さんの希望も伺った上で、最適だと思える診療を提供しています。

―患者さんご自身だけでなく、ご家族にも配慮されているのですね。

そうですね。もし自分が患者さんの家族だったら、と考えると自分の家に他人である医師を呼ぶことに抵抗を感じる方もいらっしゃると思います。ただ、ご家族から患者さんの情報を聞いたり、協力いただく場面もあるので、ご家族の方にも治療や診察について丁寧にご説明するよう心がけています。また、ご家族の方の中には「聞きたいことがあるけれでも、自分からは質問しにくい」ということもあると思います。私もなるべく話がしやすい雰囲気をつくっておりますが、遠慮なく、細かいことも聞いていただきたいですね。

経験を生かし、幅広い診断に対応する

次のページを読む

1 2 3

標榜の診療科目を同じ行政区・駅で探す

成田市×内科　成田湯川駅×内科

ツイート　LINEで送る B!

病院・クリニック、医者を探すならドクターズ・ファイル

ドクターズ・ファイルは、全国の病院・クリニック、医者の総合情報サイト！ 頼れる病院・クリニック、医者の独自取材件！ 診療科目、行政区、沿線・駅、診療時間、症状、病名、検査内容、特徴といったさまざまなこだわり条件からあなたがお探しの病院・クリニック、医者情報を探すことができます。 病院の基本情報だけでなく、先生に関する情報（診療方針や得意な治療・検診など）も紹介。

掲載情報について

掲載している各種情報は、 ティーペック株式会社 および 株式会社ギミック が調査した情報をもとにしています。 出来るだけ正確な情報掲載に努めておりますが、内容を完全に保証するものではありません。 掲載されている医療機関へ受診を希望される場合は、事前に必ず該当の医療機関に直接ご確認ください。 当サービスによって生じた損害について、 ティーペック株式会社 お

おうちde診察クリニック成田

清田 育男院長

内科 |

1 2 3

経験を生かし、幅広い診断に対応する

―訪問診療の流れについて教えてください。

基本的に訪問日時が決まっており、決められた日時に患者さんのご自宅などに伺います。往診はすべて私が行い、必ず看護師も同行します。診療時間は患者さんの病状によって異なりますが、初診だと1時間ほどかかることも。往診の頻度は、病状に応じて月1回の方もいれば、月2回の時もあります。容態次第で毎週伺うこともあるのでさまざまです。医療機器は血圧計や体温計、心電計、超音波検査機器など必要と思われるものはすべて持参します。薬の処方が必要なときは持参したプリンターで処方箋を印刷できます。加えて、東洋医学も学んでいますので、必要に応じて漢方薬の処方も行っています。薬を届けてくれる処方箋薬局もあるので、利用する場合は処方箋をFAXで送り、その後調剤した薬を届けてもらうことも可能です。診療後、症状に応じて次回の往診日を決める、という流れになりますね。

―訪問診療を行う上で、自宅の設備を整える必要はありますか？

必ず大がかりな設備が必要、ということはありませんが、マットやリクライニングできるベッドなど、在宅医療に必要なものはあります。ケアマネジャーと連携をとっていますので、症状に応じてケアマネジャーが相談に乗ってくれます。自分も医師から見て必要だと思う設備は提案いたしますし、訪問リハビリテーションや訪問看護など、さまざまな目線でサービスの提案をしています。ケアマネジャーとの連携は訪問診療を行う上で重要です。

―どんな人に訪問診療を利用してほしいとお考えですか？

当クリニックの訪問診療は、定期的にクリニックで診療を受ける必要があるが、通院が困難だという患者さんに適しています。そのため、急病などは設備の関係などから対応が困難なこともありますが、町中のクリニックで対応できるレベルの治療であれば、往診で対応させていただきます。在宅医療にはいろいろなイメージを持たれると思いますが、当クリニックでは緩和ケアだけでなく幅広い内容に対応していますので、多くの患者さんに気軽に利用してほしいです。ご自宅で患者さんのお世話をしているご家族の方で、今後のフォローについて悩まれている方もいらっしゃると思いますので、ぜひご相談ください。

―訪問診療を始める前は、どのようなことを学んできたのですか。

大学病院の臨床検査医学科では、血友病など血が止まりにくいといった疾患に関する診察や治療を勉強してきました。そこでは遺伝性疾患で幼少期から発病した患者さんに対し、高齢になるまで一貫した診療を行います。大学病院としては珍しく、長い間1人の患者さんの診療を行える科でしたので、一人ひとりの患者さんに寄り添って診療ができるという点にとても魅力を感じました。こうした、しっかり患者さんと向き合いながら診療を行ってきた経験は、現在の訪問診療に生きていると思います。臨床検査医学だけでなく、内科全般を幅広く診てきたので、これらの経験も訪問診療に役立っています。

終末医療だけでなく、気軽で身近な存在の訪問診療へ

次のページを読む

1　2　3

標榜の診療科目を同じ行政区・駅で探す

成田市×内科　成田湯川駅×内科

ツイート　LINEで送る

病院・クリニック、医者を探すならドクターズ・ファイル

ドクターズ・ファイルは、全国の病院・クリニック、医者の総合情報サイト！ 頼れる病院・クリニック、医者の独自取材件！ 診療科目、行政区、沿線・駅、診療時間、症状、病名、検査内容、特徴といったさまざまなこだわり条件からあなたがお探しの病院・クリニック、医者情報を探すことができます。 病院の基本情報だけでなく、先生に関する情報（診療方針や得意な治療・検診など）も紹介。

掲載情報について

掲載している各種情報は、 ティーペック株式会社 および 株式会社ギミック が調査した情報をもとにしています。 出来るだけ正確な情報掲載に努めておりますが、内容を完全に保証するものではありません。 掲載されている医療機関へ受診を希望される場合は、事前に必ず該当の医療機関に直接ご確認ください。 当サービスによって生じた損害について、 ティーペック株式会社 および 株式会社ギミック ではその賠償の責任を一切負わないものとします。 情報に誤りがある場合には、お手数ですがドクターズ・ファイル編集部までご連絡をいただけますようお願いいたします。

1 2 3

終末医療だけでなく、気軽で身近な存在の訪問診療へ

―今までの診療で印象に残っているエピソードはありますか？

もう長くないかもしれないという病状の患者さんで、在宅医療に切り替えたことで病状が落ち着き、長く安定した生活ができた末期がんの患者さんがいました。その時に改めて自宅で過ごす力を感じましたね。大切な家族と住み慣れた家で一緒に過ごせることが安心感となり、何よりの生きる力になるのだと思いました。

―今後のクリニックの展望についてお聞かせください。

まだ開業して間もないのですが、今後看護師やスタッフが増えていけば小児在宅医療も展開していきたいです。また現在は緩和ケア的な診療を求める患者さんが多いですが、今後当クリニックの認知度が高まれば、通院は難しいけれどそこまで症状が重くはないという患者さんへの診療など、幅広い訪問診療を行なっていきたいです。加えて、訪問診療は医師だけではなく訪問看護や訪問介護、地域の病院などさまざまな連携が必要です。訪問診療という枠にとらわれず、さまざまな福祉サービスと連携し、誰もが安心できるよう、医療面から環境づくりを進めていきたいと考えています。

―読者の方へメッセージをお願いします。

疾患のある患者さんは、大きな病院で治療するということはもちろん重要です。しかし、病状によっては自宅で余暇を過ごすという選択もあります。自宅で診療を行うことで患者さんの不安を取り除き、心身の安定につながることも多いので、穏やかに生活するためのツールとして気軽に利用していただけたらと思います。また、通院が望ましいのか、訪問診療がよいかと検討されているご家族の方にも、ぜひ気軽にご相談いただけたら幸いです。